**教育振興基本計画　後期事業計画策定に向けて**

資料４

**◇子どもの発達段階に応じた読書環境の充実**

　　○　教育振興基本計画　事業計画の策定後に、「大阪府第三次子ども読書活動推進計画」を策定したため、その記述等を反映。

　　○　現行事業目標の「図書館に週1～4回以上通う子供の割合」について、近年数値は低下傾向にあるが、一方で、「読書が好きな子どもの割合」は増加傾向にあり、相関関係がなく、後期の事業目標として妥当性の検討が必要。

　　○　現行事業目標の「ボランティアを活用している学校の割合」について、学校司書が学校図書館に配置された場合にはボランティアは減る可能性がある一方、学校司書が減員された場合はボランティアが増える可能性があり、事業目標として妥当性の検討が必要。

　　○　現行事業目標の「保護者に対して読み聞かせ…等の取り組みをしている公立幼稚園・保育所の割合」について、608園中、581園が実施済であるが、現場の実態を踏まえ、完全実施を目指すことの妥当性の検討が必要。